

嘉麻市社協だより

誰が一番多く入るかな？

～かほデイサービス利用者

お手玉ゲームに挑戦～

えがお

発行日 2010.3.1

No.
49



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

骨太なまちを創っていくために必要なことは？

NPO法人 まちのカルシウム工房／東海大学福岡短期大学 准教授 竹内裕二

みなさんのご家庭では今年、節分の行事をしましたか？多くの読者から「我が家はしましたよ」「家の中が散らかるからしないよ」などと様々な声が聞こえてきます。筆者の家でも、福を迎え入れるために豆まきをしました。が、お約束のように「鬼の役」は筆者です。やはり、先月号でお伝えした「まちに出よう、人に会おう、風を肌で感じよう」という言葉の実践を常日頃から日常生活の中で行っているのです(笑)。このような季節の行事を通じて、自然環境の摂理、家族との絆や会話の大切さを家族全員で認識すると共に、コミュニケーションを図るといふ昔ながらの会話手法が「生活」と言う自然体の中で脈々と息づいていることがわかります。ところが近年の核家族化やライフスタイルの変化により、家庭内や隣近所の会話不足は、社会全体のコミュニケーション不足、地域力の低下へ直結していると言っても過言ではありません。先月号の終わりの部分で、『市町村合併によって嘉麻市と大きくなったまちで、「さあ、まちづくりをしよう」「自分のまちを考えよう」といつても何から考えればよいのかわからないのも当然だ」とお伝えしましたが、この要因も

前述した事柄に問題の本質が隠されています。今月号では、これらのことを踏まえて骨太なまちを創っていくために必要なことは何かを読者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

世の中の動きとしては、新しい年が始まったばかりにもかかわらず「政治家のお金」に関することや「トヨタのリコール問題」などが、毎日の新聞記事やニュースを賑わしています。これらの出来事そのものは、新しい出来事であっても、事件そのものの本質部分では新しさを感じません。その理由は言うまでもなく、この何十年間の間に形を変え何度となく同じようなことが繰り返されてきただけに、人々の心の中では「またか」という気持ちになっっているのも当然なのです。これと同じ時に昭和を生き抜いてきた人々にとつて、これまで「当たり前」と思っていた「社会的通念」というものの捉え方そのものが、確実に変化しています。その中の一つが、人との関わり方です。これまで当然だった御近所づきあいにおいて「こうでなければならぬ」という固定観念が時代の変化に伴い崩れ始め、当たり前が当たり前でなく、他人が信じられなくなり、情報は自

分得るためにインターネットを頼るようになってきたように思います。人々が、何を信じてよいかわからない時代に突入したと言っても理解できるような気がします。追い打ちをかけるように近年の経済不況は、市民の見えなかつた部分で様々な人々を救済していた機能が姿を消し、誰かが「してくれ」「助けてくれる」というこれまでの姿勢では、今後どうすることもできない状況になっていっても不思議ではありません。もし、これらのことが「当たり前」と化したならば、寂しい気持ちになります。市民の皆様が、そうならないためにも、これから取組もうとする「市民によるまちづくり」が重要な位置を占めてくるように考えます。しかし現実的には、皆様の住むまちの賑わいは……！といえは、何ら変わっていません。そのような状況を劇的に変える方法などはありません。しかし、解決に向けての法則や活動の仕方・姿勢などといったものはあると思います。

昔、人間が4本足で歩行している時(当時はサル)、若いサルの間で2本足歩行が流行ったそうです。その姿を見た年取つたサルは若いサルを見て、「今のサルは……」と若いサルの流

行を否定したそうです。しかし、今はどうでしょうか？2本足歩行は、当たり前であり誰も否定しません。このような現象は、現代社会において類似したところがあり、根っここの部分で相通じるものがあります。ここ最近の政治経済からも明らかかなように社会全体での動き(世論)が、世の中の動きを左右していると言えます。このような人間社会の動きや規律を守る仕組みとして、「しきたり」や「掟」などが日本に存在していたことも理解できます(地方に行けば、今なお残っている)。現代社会においては、法律が国民全体の規律を守る役割を担っていますが、そこに住む人々が最も大切にしなければならぬのは現代に合った「しきたり」や「掟」だと思います(法律を守ることが大前提)。活気のあるまちにするためには、「人の行き交う様」を創り出すことこそ最善の治療法と先月述べました。このことをより具現化させるためには、「一人ひとりの行動」から「社会全体の当たり前」に運動そのものを育てなければならぬのです。一人ひとりの声は、とても小さなものです。しかし、その小さな声を集めると大きな声になります。このような声を集める装置を既存の取組みにちよつと入れ込み実践活動するだけで、古くて新しいものへと変化します。市民が、自分

たちの活動で骨太なまちを築くためには、前述した仕組みや考え方を取り入れ、市民全体が意思統一という一元化を図って行動することが必要だと思っています。決して難しいことではありません。

来月号は、最終回として「できることから始めよう」というテーマで、読者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。いよいよ読者の皆さんが、地域活動を実践する出番です。一歩踏み出す勇気と活動を続けることの気持ちを忘れなければ、大丈夫です。そのコツと注意点について述べたいと思います。次回を楽しみに！

竹内裕二氏プロフィール

NPO法人 まちのカルシウム工房 理事長
東海大学福岡短期大学 准教授

1968年 北九州市生まれ。東海大学大学院工学研究科博士課程前期修了、北九州市立大学大学院社会システム研究科地域社会専攻博士課程修了。まちを元気にしたいという思いを込めて「NPO法人まちのカルシウム工房」を設立し、まちと人をつなぐ活動をしている。また、東海大学では、地域総合連携研究室にて、様々な地域活性化プロジェクトに取り組んでいる。



ふれあい・いきいきサロンにおじゃましました NO.4 中央サロン

このコーナーでは、市内で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子をお伝えしています。

1月22日(金)、山田地区中央集会所で開催された中央サロン「サワラデ福寿会(代表 大田信さん)」におじゃましました。

月1回、第4金曜日に開催されているこのサロンは、平成13年から始まり、65歳以上の方を対象に、引きこもりを予防する声かけ運動や健康に関する講座、季節に応じた野外活動などを行っている他、食進会山田支部の方々が作った料理も振舞われています。毎回20名前後の方々が参加され、その多くは一人暮らしで、中には88歳になる方もいらっしゃいます。

おじゃました当日は新年会で、朝早くから、食進会のみなさんが料理の準備を始めていました。メニューは、豆腐ハンバーグ、大根と人参の酢の物、豚汁、そして新年会らしくぜんざいとなっていました。料理は、「心も体も健康に!」ということで、食進会の栄養基準を基に、カロリー計算され、栄養バランスのとれたものとなっています。

このサロンには、「できることは自らも参加する」というモットーがあるそうで、当日もみなさん「お茶はもうついでいいかね?」「この料理は運んでいいね?」と進んで準備を手伝う姿がありました。

そして、豪華に並べられた料理に、「まあ、おいしそうやね。」「正月やから豪華やね。」との声が聞かれ、会話を楽しみながら手料理に舌鼓をうっていました。

参加者の一人は、「度々体調が悪くなって家にこもりがちやけど、ここのみんながどうしよるね?と声を掛けてくれるき、嬉しいとよ。本当みなさんに感謝しています。」と話します。

このサロンの「サワラデ福寿会」という名前は、会場である中央集会所の横をゆっくりと流れるサワラデ川からとったそうで、月1回開かれるサロンは、みなさんにとってサワラデ川のように、ゆっくりとした穏やかな時間を過ごせる場所となっているようです。



子育てリユースセンター 新学期に向けて学用品大募集!!

進級や進学シーズンを間近に控え、制服や学用品に関する問い合わせが増えてきています。中学や高校で使用する制服やコート、体操服、学用品は決して安いものではなく、リユースの輪がもっと広がればと思います。

ご家庭で譲る相手もない制服や学用品等があれば、ぜひリユースセンターまでお寄せ下さい。

こんな用品はありませんか?

市民の方から、「稲築志耕館高校や飯塚高校の制服はありませんか。」との問い合わせがありました。現在リユースセンターには在庫がありません。ご家庭で使用しなくなった同校の制服をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひリユースセンターまでお寄せください。

尚、男子用、女子用とも各サイズ受け付け中ですので、よろしくお願いいたします。



【開館時間】

8時30分～17時
(土・日・祝日を除く)

【問い合わせ先】

碓井千歳会館
☎0948-62-3538



知り合おう!! 伝えよう!!

みんなの活動、地域のボンド・ユニコーン!!

10年以上続いている異世代交流の魅力

2月5日(金)、鴨生保育園の子どもたちと枝坂地区老人会のみなさんによる交流会が開催されました。この取り組みは、異世代間の心のふれあいを図ることを目的に、10年以上続いています。

当日は、卒園を間近に控えた年長組の子どもたちが、小学校に入学してから使えるようにと、体操服を入れる袋作りに挑戦しました。慣れない手つきで並縫いする子ど



もたちを女性の方が温かく見守り、「最後はどうしたらいいと?」と尋ねる子どもにも、玉止めの仕方を丁寧に教えていました。

また、別の教室では、青竹を使って竹とんぼ作りが行なわれ、男性の方がナイフやのこぎりを使って上手に仕上げている様子に、子どもたちは目を輝かせていました。その後、出来上がった竹とんぼに思い思いの色を塗って初飛行を試み、空高く舞い上がると、「見た?上手に飛ばせたよね?」と満面の笑みを浮かべました。

竹とんぼ作りを指導した方は、「竹とんぼは、危なくないようにやわらかい青竹を使って、角を丸くすることを教えています。毎年来ているので、小学生になった子どもたちから竹とんぼのおじち



やんと声をかけられることもあるんですよ。」と嬉しそうに話します。

核家族化の進行によって、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に生活することが少なくなりつつある中で、この交流会は子どもたちにとって、高齢者の温かさを肌で感じる貴重な機会となっており、とともに、老人会のみなさんにとっても、たくさんの子どもたちから元気をもらっているようです。

「こども目線♥かまっぴ♥」、完成しました!



子育て情報紙づくり講座に参加したお母さん7名は、講座終了後も学んだ知識を無駄にしたいと、子育ての合間をぬいながら情報紙づくりに挑戦し、「こども目線♥かまっぴ♥」が完成しました。

この情報紙は、親の視点だけではなく、子どもの目線も大事にしたいという思いを込めて作られたもので、子どもにやさしい施設の紹介や離乳食レシピ、出産体験記等欲しかった情報を集めて掲載しています。また、今後も季刊紙としての発行を考えていますので、情報の提供や一緒に参加できる方を募集しています。

なお、この情報紙は、市内の図書館、子育て支援センター、碓井千歳会館、山田ふれあいハウス、社会福祉協議会に置いてありますのでご覧下さい。また、本会のホームページ上でも見ることができます。



<http://kama.syakyo.com/kamappi>

真冬の路上生活の実態を 目の当たりにして

2月12日(金)、NPO法人北九州ホームレス支援機構が実施している支援活動にボランティア3名とともに参加し、八幡方面の巡回に同行しました。

この日の気温は4℃、時折強く吹く風は、気温以上の寒さを感じさせます。野球場の周辺を巡回していると、この冷たい風をさえぎるものもない場所で、ダンボールを地面に敷き、毛布に包まれている男性に出会いました。弁当や温かい味噌汁を手渡し、「何か必要なものはありませんか?と尋ねると、体調を崩している様子で、「薬がほしい」という返事がありました。風邪薬と整腸剤を渡し、支援機構のスタッフが病院への受診を勧めると、「病院に行っても、またすぐに風邪をひくから」と頑なに拒まれる姿に、私たちは胸が締め付けられました。



支援機構のスタッフによると、最近では支援活動への協力者は増えてきているようですが、その一方でホームレスになった人が悪いという思いを持っている人も多く、支援活動に対して、「ホームレスを甘やかしている」と非難されることもあるといいます。しかし、武田さんをはじめ、同行者全員が感じた「大きな差」は、自己責任だけがもたらした結果なのでしょうか。そこには、経済状況の悪化や人間関係の希薄化、孤立化といった社会の問題が大きく影響しているように感じます。

今年度、本会では季節ごとに必要とされる物資を募集し、ボランティアとともに届け、活動に参加してきました。今後も引き続き支援活動に参加していきますので、皆さんもぜひ活動の輪に加わっていただければと思います。

今回、支援物資を寄附していただきました皆様、本当にありがとうございます。

日中一時支援事業をご利用ください!

本会では、障がいのある子どもたちが放課後や長期休暇を楽しく過ごせるよう、交流の場を提供する日中一時支援事業を実施しています。入学や進学を間近に控えて、仕事の都合や家庭の事情でお子さん一人になる心配がある方は、ぜひこの事業を利用しませんか。

また、平日は、市内の学校及びスクールバスの停留所から事業所までの送迎も行っていますので、ご利用下さい。

- 利用できる方** 18歳未満の児童で、嘉麻市及び飯塚市の地域生活支援事業利用決定を受けた方
- 場 所** 嘉麻北日中一時支援事業所(鴨生339-8 旧はぐるま工芸舎)
嘉麻南日中一時支援事業所(上山田502-6 山田ふれあいハウス)
- 利用できる時間** 15時~19時(月~金曜日) 8時30分~17時(土曜日・祝日・長期休暇)
- 利用料金** 1回の利用につき、下記の金額が必要になります。(生活保護世帯は無料です。)

障害程度(区分)	3時間未満	3~8時間未満	8時間以上
区分1	122円	245円	367円
区分2	148円	296円	444円
区分3	189円	378円	567円

その他の費用		
おやつ	100円	
送 迎	5 km未満	100円
	10 km未満	200円
	10 km以上	300円



ボランティア 募集

子どもたちと一緒に楽しく遊んでいただけるボランティアを募集しています。

活動可能な時間帯で構いませんので、興味のある方は下記までご連絡ください。

申込・問い合わせ 嘉麻市社会福祉協議会 0948-42-0751

かまボランティア 市民活動センター情報

2010年
3月

ボランティアグループ紹介 No.5

朗読コア

●どのような活動をされているのですか？

朗読コアでは、月に一度、社協だより「えがお」や童話、その他様々なジャンルのものを朗読し、録音したテープを稲築地区の視覚障がいのある方々に提供しています。

●活動する上で心がけていることはありますか？

聴く人にとって、いかに聴きやすく朗読するかということです。

そのため、私たちの会では月に2回稲築公民館で勉強会を行っています。

そこでは、お互いに朗読のアクセントを指摘したり、センテンスの確認などをしながら、技術の向上に努めています。

●どのような課題がありますか？

私たちの会には録音機材がないため、機材を持っている会員の家で、録音作業をしています。

録音室もありませんので、車の通る音や動物の鳴き声が入ってしまう度に、中断して録音し直しています。

パソコンや録音機材を整備したいのですが、月500円の会費だけでは難しいというのが実態です。

●これからの目標を教えてください。

現在は6名で活動しています。もっと若い方にも加入してもらいたいです。そして、聴いている人に感想を聞きながら、求められている情報を朗読していきたいと思っています。



みなさん真剣に発声練習に取り組んでいます

ボランティアイベント募集情報

レクリエーションのサポート

通所介護 うすいの里(下臼井)

月曜日から土曜日の14時から15時まで、利用者の皆さんが楽しめるレクリエーションを行っていますので、サポートしていただけるボランティアを募集します。

日時 月曜日～土曜日の14時～15時
(可能な日時で構いません)

場所 通所介護 うすいの里(嘉麻市下臼井1055)

内容 ゲーム、体操等、レクリエーションの補助

準備品 動きやすい服

春休み期間のサポート

児童デイサービス つばさ学園(下臼井)

春休みの期間中、障がいのある子どもたちと一緒に遊んだり、行事をサポートしていただけるボランティアを募集します。

日時 3月25日～4月6日の10時～15時
(可能な日時で構いません)

場所 児童デイサービス つばさ学園
(嘉麻市下臼井1012-3)

内容 春休み期間中の障がいのある子どもたちのサポート(行事もあります)

準備品 上靴(運動靴)、動きやすい服

ボランティア活動中の事故に備えて… ～ボランティア活動保険の加入手続きをお忘れなく～

かまボランティア・市民活動センターでは、3月1日から平成22年度のボランティア活動保険の加入申込みを受け付けています。

この保険は、ボランティア自身の活動中の怪我や、他人の身体や財物に与えた損害などを補償するものです。加入できるのは、本センターに登録されているボランティア、ボランティアグループ及び団体等です。

平成21年度にご加入された方の補償期間は3月31日で終了しますので、継続手続きを行ってください。

また、新規加入も随時受け付けていますので、お気軽にお問合せください。

【補償期間】

平成22年4月1日から平成23年3月31日
※4月1日以降に加入手続きをされた方は、その翌日から平成23年3月31日までが補償期間となります。

【保険料】

Aプラン	Bプラン
280円	420円

※補償内容は、プランによって異なります。
※上記のほか、ボランティア活動中に起きた地震や噴火、津波による怪我も補償する天災タイプもあります。



かまボランティア・市民活動センター 電話0948-42-0751

春だより

稲築西学童保育所

2月3日、西学童保育所では、節分の豆まきを行いました。

家の中や自分の心の中にすんでいる鬼を追い払い、福を呼び込みます。青鬼赤鬼に変装した3・4年生の男子数人と指導員が登場すると、他の子ども達の、「鬼は外、福は内」と元氣な掛け声が部屋中に響きわたり、豆まきが始まりました。鬼達は豆が当たらないように逃げ回ったり子ども達を脅かしたりと忙しそうでした。中には、鬼達の迫力に泣き出した1年生がいたほどです。

季節の製作は、まくらめと紐を使って雛人形を作りました。できあがったお内裏様やお雛様の顔はひとつひとつ違い、それぞれに可愛らしくできあがりしました。

学童保育所では、季節の製作に子ども達や指導員がい로운なアイデアを出し合い取り組んでいます。子ども達で作れる作品がありましたら、稲築西学童保育所まで御一報ください。



* 山田ふれあいハウス 碓井千歳会館情報 * ~会議室をご利用ください~

山田ふれあいハウスと碓井千歳会館には、市民のみなさんが利用できる会議室がありますのでご利用ください。なお、事前申し込みが必要になりますので、下記までお問い合わせ下さい。

山田ふれあいハウス 会議室(30名程度)

■開館時間 9:00~19:00(4月~10月)
9:00~17:00(11月~3月)

※お盆(8月13日~15日)、年末年始(12月28日~1月4日)を除く

■利用料金 250円/1時間(冷暖房は440円/1時間)

■問い合わせ先 山田ふれあいハウス(上山田502番地6)
TEL 0948-52-1847



碓井千歳会館 大会議室(50名程度)、小会議室(10名程度)

■開館時間 8:30~17:00

※土・日・祝日、年末年始(12月29日~1月3日)を除く

■利用料金 1,000円/3時間未満(冷暖房は5割増)
※3時間以上 500円/1時間

■問い合わせ先 碓井千歳会館(下白井1050番地19)
TEL 0948-62-3538



寄ってこハウス情報

野菜づくりを 始めませんか?

季節の移り変わりは早いもので、そろそろ露地野菜づくりのための準備の時期が近づいてきています。

去年は寄ってこハウスの畑で初めて野菜づくりに取り組み、その大変さや楽しさを実感することができました。

今年は、この畑で多くの方々に野菜づくりを体験してもらい、それを通じて新しい仲間を見つけていただければと考えていますので、一緒に汗を流しませんか。

また、寄ってこハウスでは、野菜づくりの助言や指導、鍵の開け閉め、小修繕や草取りなどをしていただけのサポーターを募集していますので、ぜひご協力ください。

お問い合わせ

嘉麻市社会福祉協議会

TEL 0948-14210751



嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

1月16日～2月15日受付分

【漆生本村】

親族 田中 武美 様
故 田中 アサ子 様

【漆生中央】

親族 浅田 薫 様
故 黒田 浩 様

【漆生東】

親族 出合 重信 様
故 出合 ハツミ 様

【西岩崎】

親族 井上 ハツ子 様
故 井上 謙二郎 様

【山野第一】

親族 江口 テル代 様
故 江口 信一 様

【鴨生町】

親族 甲斐田 充彦 様
故 甲斐田 ミツミ 様

【銭代坊】

親族 若狭 しのぶ 様
故 小池 ヤエコ 様

【新山野】

親族 渡部 義雄 様
故 渡部 チヨ 様

【下臼井東】

親族 松岡 清子 様
故 松岡 明 様

【上臼井下】

親族 吉田 智恵子 様
故 吉田 フミ子 様

【飯田】

親族 吉村 ユキノ 様
故 吉村 世志男 様

【西郷】

親族 福嶋 久子 様
故 福嶋 幸 様

【中山田上】

親族 大畑 美千代 様
故 大畑 忠義 様

【中山田下】

親族 深水 冷子 様
故 深水 邦泰 様

【長野】

親族 和野 ミヤ子 様
故 和野 満 様

【長野】

親族 和田 英次 様
故 和田 栄 様

【さくらが丘】

親族 宮本 ユキノ 様
故 宮本 武雄 様

【古河】

親族 青木 政昭 様
故 青木 ヨシエ 様

【下牛隈】

親族 渡辺 康 様
故 渡辺 キヨ子 様

【西馬見】

親族 高山 恭治 様
故 高山 トシ子 様

【芥田】

親族 大野 五月美 様
故 大野 修 様

【嘉穂才田】

親族 畠間 堅 様
故 畠間 広美 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様
【子育てリユース】

【山野第一】

佐々木 征恵 様

【山野第二】

柳迫 里美 様

【鴨生第一】

中嶋 亜紀子 様

【鴨生北町】

工藤 恵 様

【銭代坊】

石原 サワ子 様

【飯田】

赤星 由美子 様

【下臼井西】

井上 忍 様

長野

大場 睦子 様

石ヶ崎

渡邊 美千代 様

【アルミ缶】

藤原 朋美 様

飯塚市

森山 あずさ 様

西岩崎

下臼井東 匿 名 様

石ヶ崎

渡邊 美千代 様

百々谷

吉元 悦子 様

下宮

仲道 庸正 様

西川

島田 睦男 様

天神

熊ヶ畑第三 平嶋 艶子 様

下牛隈

大屋 由美 様

市外

嘉穂才田 大屋 由美 様

光代自動車

下山田小学校PTA 様

グランドベルズ飯塚

下山田小学校PTA 様

【古切手】

新山野 穴井 文子 様

鳴生町

匿 名 様

辻中籠

匿 名 様

下臼井東

匿 名 様

石ヶ崎

渡邊 美千代 様

嘉穂養護学校

下山田小学校PTA 様

嘉麻市人権同和对策課

夢サイトかほ 様

【使用済みテレカ】

下山田小学校PTA 様

【書き損じはがき】

鳴生町 匿 名 様

【個人会員】

〈下宮〉大里一男

〈下益〉縄田満枝

〈川崎町〉吉塚仁(二口)

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に
加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます)
1月16日～2月15日受付分

ふるさとの風景 ポストカード

好評
販売中

嘉麻市の昔懐かしい風景をはがきにしたポストカード「ふるさとの風景」(4枚1セット/200円)が大変好評です。

ポストカードは、社協事務局(稲築住民センター内)の他、カツホー馬古屏でもお買い求めできます。



4枚1セット
200円

カツホー馬古屏

嘉麻市牛隈882番地1 ☎0948(57)2222
営業時間/午前8時30分~午後5時

嘉麻市社会福祉協議会指定 葬祭場紹介

善光会館 稲築会場

嘉麻市鴨生277-17 ☎(0948)83-5000



- 24時間、承ります。もしもの時はいつでもお電話ください。
- ゆったりとした会場です。ロビーも広々!
- 全室バリアフリー。もちろんトイレもバリアフリーです。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、善光会館稲築会場を含め、市内に8カ所あります。

おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420
飛鳥会館 南斎場	☎42-4241
きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499
ひさつね会館	☎52-0758
いすや会館	☎57-4444
セレモニーホールおおつか	☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 No.34

今回ご回答頂くのは…
善光会館 稲築会場
大津 進さん



Q 生花や供物を並べる順番はありますか?

A 一般には故人と縁が深い順、あるいは贈り主の社会的地位などを考え合わせた上で決められます。順番が決まったら、棺に近い所から並べます。しかし、遅く届いたものに関しては届けられた順番どおりで差支えありません。

4月の総合相談

法律相談は予約が必要です。
お早めに右記までお申込み
ください。

法律相談

と き: 4月1日(木) 13:00~16:00

と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 4月15日(木) 13:00~16:00

と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

と き: 4月14日(水) 13:00~15:00

と ころ: 稲築住民センター

と き: 4月28日(水) 13:00~15:00

と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

ふるさと西郷の思い出

私のふるすとは南に古処山、屏山、馬見山の連峰を仰ぎ見、近くに嘉麻川が流れる西郷です。

昭和五年に私はここで生まれました。昭和二十六年北九州の会社に就職するまで、ここで



愛知県春日井市在住
田中 重正さん(79歳)
西郷出身

過ごしましたが、澄みきった清流に白い砂の嘉麻川での小魚の掴み取り、はや釣り、螢狩り、大雨の増水で出来た深場での水泳、川原で枯草の野焼き、山では古処山登山で大晦日の夜のキャンプ、そして翌元日の初日の出。忘れられない思い出です。里山では茸狩、ワラビ採り、小鳥の罝掛け、山桃採り、又秋分の日のお納相撲等々、ふるすとは懐かしさ尽きぬ思い出ばかりです。

北九州で就職したのは産業用電気機械製品の製造販売の会社で、私は試験担当で製品の試験と製品システム、プラントのユーザー現場での試運転調整で日本中を駆回りました。又、営業担当となり、大阪、東京、金沢、名古屋と転勤で転居し、多くの地域での見聞を広げましたが、私にはやはりふるすが一番よい所だと思われました。西郷を出た後は、何か事ある毎に出来るだけ帰郷し、ふるすとの四季の装いに接し、やすらぎを得て生きる励みとしておりました。七十三才で会社の仕事を辞め、現在七十九歳で愛知県春日井市に住んでおります。北に四万人のニュータウン、南の我が家の前には庄内川が流れ、ふるすとの嘉麻川を思い起こさせます。春日井市を第二のふるすとし、コミュニティ活動の手助けをしております。西郷に帰ることはないと思います。ふるすとの皆様に一つだけお願いがございます。最近、嘉麻川の汚染がかなり進んでおるのが残念です。なんとか浄化する工夫をお願い申し上げます。今後、も出来るだけ帰郷し、ふるすとの装いに接したいと思っております。

いつまでも安心して喜らせる地域づくりのために

～平成21年度の「社協会員」を募集しています～

「住み慣れた嘉麻市で、いつまでも暮らし続けたい」という願いは、市民共通の思いではないでしょうか。今日、介護保険をはじめとする、様々な公的な福祉サービスは充実してきていますが、制度だけでは対応することができない福祉課題も多数存在しているのが実態です。本会は、市民の方々の参加と協力に基づいて、そのような福祉課題を解決する事業や活動を実施していくため、年間を通して「社協会員」の募集を行っています。

平成21年度にみなさんから寄せいただいた会費は、地域支えあい事業や子育てリユースセンター事業、地域福祉部の設置・支援事業などの活動財源として、有効に活用させていただきますので、趣旨をご理解いただきまして、多くの方々のご加入をお願いいたします。



■会費の種別と金額

一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額

お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



炭鉱時代の懐かしい写真を募集しています。

その写真にまつわるエピソードなどもお聞かせください。

まずは、嘉麻市社会福祉協議会 (TEL 0948-42-0751) までご連絡ください。

「炭鉱全盛期には、たくさんの方が来場し、入場券を確認する暇なかなかったね。」と、高島正江さんは写真を懐かしそうに眺めます。

高島さんは、昭和4年に建てられた劇場「日吉座」の経営を父親から引き継ぎました。当時この劇場は、下山田地区の炭鉱従事者や家族、また地域の人々にとっての憩いの場となっていたようで、正面入り口の上にある太鼓やぐらで、役者さんが芝居の始まりを知らせる太鼓を打つと、ぞくぞくと人が集まってきていたそうです。

また、この日吉座を会場に年1回開かれた炭都祭りでは、地域の人たちが役者さんから衣装を着せてもらい、まちを練り歩いていた様子は、高島さんにとって忘れられない思い出となっています。

このように多くの人々から親しまれた日吉座は、石炭産業の衰退とともに、来館者が減り、昭和36年に幕を閉じました。現在、その当時の面影はなく、住宅地となっています。



炭都祭りのようす

シリーズ
炭マの
記憶 No.36